

京都嵯峨芸術大学広報

Contribution

旅立つ諸君へ贈る言葉

News

制作展を開催／新キャンパス開設へ向けて^{ほか}

Topics

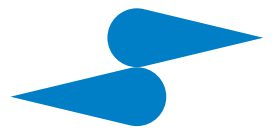
在学生と卒業生の活躍^{ほか}

Information

生涯学習講座^{ほか}



森原キャンパス「有響館」建設現場20040220



旅立つ諸君へ贈る言葉

三好郁朗 ●京都嵯峨芸術大学／京都嵯峨芸術大学短期大学部 学長



今年は結構寒い冬だった気がします、この時期になるとやはり、水温む、花ほころぶと、陳腐ですが、思わずそう言いたくなります。

そうしたうらかな季節とともに新たな出発を期した卒業生を見送り、初々しい入学生を迎える…私には一年でもっとも心弾む季節です。

外国では7月に学年が終わり、9月に再開されるところが多いようで、グローバル・スタンダードの時代、わが国のアカデミック・カレンダーも変更してはという意見があるようですが、ものみな新たになる季節に人を送り、迎えるというのは、いかにも捨てがたい慣習に思えます。

本学が創立30年を期して四年制の芸術学部を開設、校名を京都嵯峨芸術大学短期大学部ならびに芸術学部とあらためて3年になります。来年のこの時期にはいよいよ芸術学部が初めての卒業生を送り出すわけで、短期大学部と専攻科だけの卒業式というのは今年が最後になりました。

本学はこれまでに1万数千名という卒業生を出してきましたが、その多くが造形作家として、デザイナーとして、さまざまな関連分野で着実かつ独創的な仕事をつづけてくれています。また、直接芸術活動に関わらないまでも、多くの先輩たちが本学で育んだ感性と知識を活かして充実した人生を送ってくれており、そのことは、これから社会に出ていくみなさんにとって心強い励ましであろうと思います。

短期大学制度が生まれた歴史的経緯にはいろいろ問題もあるのですが、大学と変わらぬレベルの教育内容で、修業時間(単位)数が少ないだけの高等教育機関として、わが国の教育制度に定着し、発展してきました。本学でも創設以来今日まで「四年制大学に負けない芸術教育」をスローガンにしています。

しかしながら近年、短期大学をとりまく環境は大変に厳しい。姿を消した短大も少なくありません。また、多くの大学が短大向けの編入枠を拡大し

たこともあって、短期大学が四年制大学の前期課程であるかの認識が広まりつつあるようです。

しかしながら、諸外国の例を見ても明らかのように、本来の短期大学は、ひろく社会人も含めて誰もが「必要とするときに必要なことを必要なだけ学べる」高等教育機関として、大学とは異なった役割を発展させるべきでしょう。わが国での今後はまだ不分明なところが多いのですが、私などは、短期大学はまだまだその役割を終えていない、とりわけ芸術教育などの分野では、むしろ積極的のその使命を打ち出していくべきだと考えています。

本学で学んだみなさんは、身につけたものに自信を持ち、胸を張って社会に出て行ってほしい。そのうえで、母校が新たな発展の道を切り開こうとしているのを、ぜひ温かく見守ってもらえればと思います。

みなさんが本学で学べたこと、それは誰よりもまずみなさん自身で慎重に評価し、これからの人生に活かしていくべきものです。見送る私たちとしては、本学でのみなさんの生活が充実し、有意義なものであったことを心から願うばかりです。

ところで、みなさんの努力の一端は、先に京都市美術館で開催された「卒業・修了制作展」で見事に披露されていました。芸術学部の進級制作展が同時開催されたこともあって、例年にも増して活気あふれる会場でしたし、成果をまとめた「作品集」も立派なできばえだと思います。その巻頭にも書きましたが、みなさんが本学で学んだのは単なる知識でも技術でもなく、いわば「自分探し」の心であり、発見した自分をどう表現するか、その方法だったと思うのです。

もちろん芸術表現は単なる自己満足に終わってはならない。それはまず、この時代をみなさんとともに生きるさまざまな人間のネットワークに向けて発信されるべきものでしょう。そのようにして、みなさんの活動が他者の精神に共鳴作用をおよぼすには、表現技術の巧拙もさることながら、なによりその感性が、時代と社会の精神を鋭敏に映しと

るものでなければならない。社会に生きる創作者として必須の、そうした芸術的心構えを、本学の日々でみなさんが身につけてくれたとしたら、私たちにあってこれにまさる喜びはありません。

みなさんがこれからどのような道を進むにしても、なかなか先が見えないというか、さまざまな不確定要素が行く手に立ちはだかることでしょう。日本社会の全体が激しい変革の嵐に揺さぶられているのです。先達であるべきわれわれ世代の人間も、残念ながら自信を持って明日を見通すことができずにいます。こういう不確定性の時代に大切なことは、自分が変化することをおそれず、変化した自分をつねに正しく認知しつづけることではないでしょうか。

私の敬愛する哲学者ミシェル・フーコーが最晩年の文章で「人生や仕事の目的は、それまでの自分と違った自分になること」と書いています。この2年、あるいは4年でどこまで違った自分となりえたか、その過程を通じて掴んだであろう大きな自信、あるいは反省とともに、さらなる自分探しの旅へと大胆な一歩を踏み出してください。

ところで、桂川沿いに新しいキャンパスが生まれようとしているのはすでにご存知と思います。あまり規模は大きくないのですが、立地的によく目立つところですので、本学のいわばメインエントランスとして、学園の教育理念を象徴するような施設にしたいと願っています。

たとえば地域住民への図書館の開放、生涯学習センター、公開講座や種々の会合への教室の開放、児童図書コーナーの設置など、社会に向かって開かれた大学にふさわしい使い方をするつもりです。

今年卒業するみなさんに完成に立ち会ってもらえないのは残念ですが、卒業生としての今後のさまざまな活動に、ぜひ利用していただきたい。ヨーロッパやアメリカでは、地域社会との交流と並んで、卒業生との連携が大学の発展を支える大



きな力となっています。本学はここ嵯峨野を中心に、京都の歴史と未来に密着した文化情報の発信センターでありつづけたいと願っていますが、卒業生のみなさんとの連携についても、これまで以上に密接なものにしたいと思います。たとえばみなさんが主催する展覧会やイベントの会場を提供するとか、ホーム・カミング・デイのような行事もぜひ実現してみたいものです。

卒業というのは、みなさんのこれから長く続くであろう人生にとって、ほんの一里塚にすぎません。ただちに実社会に入る人も、さらに勉強を続けようとする人も、しばらく立ち止まって将来を考えてみようとしている人も、みなさんが進むすべての道に、暖かい春の光が射しつづけることを祈っています。

制作展を開催

卒業・修了・進級制作展

2004年2月4日(水)~8日(日)に京都市美術館を会場として制作展を開催し、短期大学の卒業・修了作品ならびに芸術学部3回生の進級作品を展示しました。

今年度は、造形学科・観光デザイン学科の各専門領域において意欲的な展開を見せた芸術学部の進級作品とともに、2年間の学修成果が見事に結実した短期大学の作品群が一堂に会するという、内容の濃い展覧会となりました。

なお、短期大学部では右記の優秀作品に各賞を授与し、3月19日(金)に執り行う制作展授賞式において表彰します。



学内進級制作展

2004年2月7日(土)~13日(金)大学全体を会場に芸術学部2回生と短期大学部1回生の進級制作展を開催し、各学科、各分野・コースごとの課題作品や、瑞々しい感性溢れる自主制作作品が、教室や廊下、中庭等を利用して展示されました。

また、昨年度に引き続き、学生による実行委員会が中心となって、展覧会全体のコーディネートを行いました。広い会場での展示は、ややもすれば散漫になりがちですが、通路に「足跡」を模したサインが記され、構内各所にある展示場が無駄なく見て回れるような工夫が随所に見られ、「university museum ~創造発信~」のコンセプトが見事に展開されていました。



賞	学科	専攻・コ-ス	学年	氏名	作品名
学長賞	専攻科	美術専攻(二次元表現)	2	河井晴香	テグ
学長賞	専攻科	デザイン専攻	2	竹内絵美	MOTHER
大学賞	専攻科	美術専攻(二次元表現)	2	峯孝典	熱帯色
大学賞	専攻科	美術専攻(混合表現)	2	宮本佳美	untitled -a cauliflower-
大学賞	専攻科	美術専攻(混合表現)	2	芝歩美	sight
大学賞	専攻科	美術専攻(三次元表現)	2	田尾なごさ	ちよつとした日の器セット
大学賞	専攻科	デザイン専攻	2	井阪有香子	「え?!」~しよんぼり~
大学賞	美術学科	洋画標準コース	2	細見友子	歌
大学賞	美術学科	陶芸標準コース	2	真嶋典子	Vol.
大学賞	美術学科	染織標準コース	2	松田芽久	さんぼいろ
大学賞	美術学科	グラフィックデザイン標準コース	2	布施奈津美	ある日 ある場所 あるひとたち
大学賞	美術学科	イラストレーション標準コース	2	高橋真裕美	セニョールの雑貨屋さん
大学賞	美術学科	インテリアデザイン標準コース	2	真浦愛子	ともしび
大学賞	美術学科	生活デザイン標準コース	2	中西順也	履気楼
大覚寺賞	専攻科	美術専攻(二次元表現)	2	人見愛子	這う
大覚寺賞	専攻科	デザイン専攻(テキストイル)	2	家泉恭介	砂舟
大覚寺賞	専攻科	デザイン専攻	2	田嶋郁美	Breeze thought
大覚寺賞	美術学科	イラストレーション標準コース	2	樺木伊代	みんなでせんたく
教育後援会奨励賞	専攻科	美術専攻(二次元表現)	2	大島美徳	印度牛
教育後援会奨励賞	専攻科	デザイン専攻	2	岡田愛子	HAPPY MUSIC
教育後援会奨励賞	専攻科	デザイン専攻	2	渡辺大介	take free
教育後援会奨励賞	美術学科	日本画標準コース	2	久葉麻美	双
教育後援会奨励賞	美術学科	日本画標準コース	2	吉原麻美	南天樹
教育後援会奨励賞	美術学科	洋画標準コース	2	平田侑子	犬
教育後援会奨励賞	美術学科	洋画標準コース	2	時本奈弥	キャベツを切りかけたら
教育後援会奨励賞	美術学科	混合表現標準コース	2	濱田花菜子	untitled
教育後援会奨励賞	美術学科	混合表現標準コース	2	前田万才子	世間女体制
教育後援会奨励賞	美術学科	陶芸標準コース	2	吉田拓人	のびていく形
教育後援会奨励賞	美術学科	染織標準コース	2	岩永真沙子	水面
教育後援会奨励賞	美術学科	染織標準コース	2	高山奈津美	万華鏡
教育後援会奨励賞	美術学科	グラフィックデザイン標準コース	2	阿部達郎	the earth
教育後援会奨励賞	美術学科	グラフィックデザイン標準コース	2	小野智美	可視フィクション「光細工」
教育後援会奨励賞	美術学科	グラフィックデザイン標準コース	2	久保川和子	Open your eyes
教育後援会奨励賞	美術学科	グラフィックデザイン標準コース	2	堂下真紀子	日本再生広告
教育後援会奨励賞	美術学科	グラフィックデザイン標準コース	2	廣瀬節子	Which do you Choose?
教育後援会奨励賞	美術学科	イラストレーション標準コース	2	高田倫子	ジカイ
教育後援会奨励賞	美術学科	イラストレーション標準コース	2	谷上公弥子	ふるさと
教育後援会奨励賞	美術学科	イラストレーション標準コース	2	仲田恵美	海中散歩
教育後援会奨励賞	美術学科	イラストレーション標準コース	2	山元理恵	チュビちゃんふしぎなほこ
教育後援会奨励賞	美術学科	インテリアデザイン標準コース	2	越智千徳	藝藍×黄檗
教育後援会奨励賞	美術学科	生活デザイン標準コース	2	秋山香織	grasp the character
教育後援会奨励賞	美術学科	生活デザイン標準コース	2	種部洋子	飛遊天神
教育後援会奨励賞	美術学科	生活デザイン標準コース	2	原田真由子	Oh~!! tek im ag ic!
教育後援会奨励賞	美術学科	生活デザイン標準コース	2	吉川由香乃	R IN
同窓会賞	専攻科	美術専攻(二次元表現)	2	土田あやの	ゆらめく
同窓会賞	専攻科	美術専攻(混合表現)	2	南恵子	カーディガン
同窓会賞	専攻科	デザイン専攻	1	大庭有希	R pple
同窓会賞	美術学科	日本画標準コース	2	宮下由佳利	在
同窓会賞	美術学科	洋画標準コース	2	小柳輝見子	作品
同窓会賞	美術学科	混合表現標準コース	2	谷石磨美	いらぬい
同窓会賞	美術学科	陶芸標準コース	2	山田志乃	untitled
同窓会賞	美術学科	染織標準コース	2	大森美紀子	Plyo p yo
同窓会賞	美術学科	グラフィックデザイン標準コース	2	小林はる香	PLAY▷
同窓会賞	美術学科	イラストレーション標準コース	2	高草穂波	人肌の温度の夜
同窓会賞	美術学科	インテリアデザイン標準コース	2	松本亜弥	WA
同窓会賞	美術学科	生活デザイン標準コース	2	西川愛	gathering -x



新キャンパス開設へ向けて

新校舎の名称決定

平成16年4月20日(火)に竣工を予定している新校舎の名称が、**萩原(ふしはら)キャンパス「有響館(うきようかん)」**と決定しました。

開設記念事業の実施

萩原キャンパス「有響館」の完成を祝し、約一年間にわたって開設記念事業を実施することになりました。

地域との連携の拠点として、また、京都・嵯峨野・大覚寺という伝統文化を背景としながら、先端的で多様な教育研究活動が展開する場として、“伝統と未来をつなぐ”本学のメインエントランス「有響館」が、いよいよ始動します。

萩原キャンパス「有響館」開設に係る主な日程	
4月20日(火)	竣工、引渡し
5月上旬	命名式、開館式、落成式 学生情報フロア・教室等の使用を開始
6月	オープンキャンパス、入試説明会
8月	図書館移転
10月	図書館開館
10月16日(土)	開設記念式典、尊像開眼供養
10月以降	記念シンポジウム・展覧会・講演会等を企画中

その他、連続講演会や記念事業協賛イベント、図書館内児童書コーナー開設イベントなどが予定されています。



国内美術研修を実施

2月10日(火)~13日(金)に、総合演習科目(国内美術研修)としてフローズン・スカルプチャー(凍像)制作実習を北海道東海大学旭川校舎で実施し、19名の履修者が参加しました。交流協定を結んでいる同大学芸術工学部の協力を得て行われたこの研修では、屋外に設置される造形物の構造・デザイン、氷の科学等を学んだ上で、実際に凍像を制作し、空間を考慮しながら、設置とライティングを行いました。



専任教職員人事

退職(教員)

多年にわたり、本学園における教育の発展に寄与いただいた6名の先生方が、平成16年3月末日をもって退職されます。

平成15年度 定年退職者 / 芸術学部教員	
観光デザイン学科	鯛天成雄教授
平成15年度 定年退職者 / 短期大学部教員	
美術学科(染織)	大西津也子教授
美術学科(染織)	辻信夫教授
美術学科(イラストレーション)	川口凱正教授
平成15年度 退職者 / 短期大学部教員	
美術学科(講義部門)	康智善助教授
美術学科(インテリアデザイン)	柿沼禎子助教授

退職(職員)

下記の職員が、平成16年3月末日をもって退職されます。

平成15年度 退職者 / 事務局職員	
教務課	谷山実恵職員



小学校との連携事業

近隣の京都市立嵐山小学校から依頼を受けて、2月24日(火)に本学短期大学部陶芸研究室から教員ら4名が同校へ赴き、6年生の卒業記念作品の制作指導を行いました。

昨年に京都市と締結した、相互の人的・知的資源の交流と活用を図り、教育活動の活性化を促進するための包括協定に則って実施された事業で、陶芸という制作活動を通し、子供たちに芸術への興味・関心を持ってもらうとともに、地域に開かれた大学をめざして受託したものです。



平成15年度の活動報告

芸術作品等の公開

平成15年度は、第4回企画展「貿易扇 - 欧羅巴が求めた日本美 - 」と第5回企画展「花留 - いけぢなの粋 - 」を実施しました。

第4回企画展では、ジャポニズムの流行によって、京都で生産された扇が西洋へ輸出され浸透していった背景を持つ貿易扇と総称されていた扇の展示を行いました。

第5回企画展では、花留(華道用具)の変遷をたどり、その造形美に注目した展示とともに、日本の花留から影響を受けたイギリス製の花留も日本初公開でご覧いただきました。

教育

博物館が持つ教育という役割においては、企画展に伴ったワークショップや講演会を学外に向けて実施し、中でも初めての試みであったワークショップは、たいへん好評を博しました。

また、学内では、平成15年度から博物館実習が開講されたことにより、学芸員資格養成課程を履修する芸術学部3回生(一期生)が、附属博物館を使用して、作品の取り扱い方や展示法等を学びました。

資料の状況

平成15年度に、下記の貴重な品々の寄贈を受けました。

郷土玩具...160点程度
本学で教鞭を執られていた初田甚一郎先生(故人)のご遺族である初田純一氏からの寄贈。

川端弥之助画伯の油画作品...22点
本学で教鞭を執られていた川端弥之助先生(故人)のご遺族である高木町氏からの寄贈。

錦義一郎画伯(1898~1962)のスケッチ作品...62点
伊庭新太郎客員教授からの寄贈。

貿易扇のコレクション...29点
第4回企画展にご来館いただいた櫻本聖子氏からの寄贈。

寅の郷土玩具...103点
寅にまつわる郷土玩具等を収集されていた方のご遺族である赤尾昌子氏からの一括寄贈。

各地で灯されるあかりのオブジェ

「お～い、ニッポン」に行灯登場

本学の卒業生8名から成る制作集団「ED-Style」が、1月31日(土)に生放送されたTV番組「お～い、ニッポン『今日とはことん東京都』」(NHK衛星第2)の中で、会場の品川セントラルガーデンを演出する「あかりのオブジェ」の制作を行いました。

「四十七国行灯行脚」と題したこの企画は、全国各地を巡る番組の最終回にちなんで、各道府県を表す46基の等身大行灯と東京都を表す直径6mの大行灯で会場を彩るというもので、47基の行灯はED-Styleとアーティストの日比野克彦氏とが共同して制作。6時間の生放送内で、ED-Styleがあらかじめ作成しておいた46基の等身大行灯に各道府県のイメージを表現し、竹の骨組みづくりから始めた大行灯には日比野氏が文字や絵を描いて完成させ、番組の最後にあかりを灯しました。

ED-Styleのメンバーで短期大学部非常勤講師の粟倉久達氏は、もともと大学から始まった「行灯」の制作を東京で行い、また、放送を通じて多くの人々

に発信できたことが、今回の一番の収穫であったと語っています。



「京都・花灯路2004-東山-」に参加

京都の文化遺産や景観・町並みを灯りと花で演出するイベント「京都・花灯路(はなとうろ)」(開催期間3月12日(金)~21日(日))の中で行われた「大学のまち京都・伝統の灯り展」に、芸術学部観光デザイン学科から4チーム、短期大学部生活デザイン標準コースと専攻科から5チームが参加し、春休み中に制作した「あかりのオブジェ」を出品しました。

京滋地区の各芸術系大学から参加した学生たちによる個性豊かな灯りの創作が、春の夜の円山公園に展開し、一帯を幽玄の世界に変えました。

T 附属ギャラリー 「アートスペース嵯峨」

造形表現演習 ドローイング展

1月13日(火)~17日(土)に、造形表現演習(芸術学部観光デザイン学科の芸術関連科目)を履修する学生たちによる課題作品の展示を行いました。

この科目では、五感から受け取るものを自分自身の中で昇華し、形に還元していくことを目的として描画演習を重ねています。

大植基正展

嵯峨美術短期大学の卒業生で、現在、短期大学部日本画研究室の教務助手を務める大植基正氏の展覧会を1月27日(火)~2月1日(日)に開催しました。

会場には、在学時~現在に至るまで制作してきた作品の中から十数点が展示されました。

研究生展

2月17日(火)~29日(日)にかけて、本学附属の芸術文化研究所に在籍する研究生13名の作品展を開催しました。

本学短期大学部専攻科を修了したのち、芸術文化研究所において、創作へのさらなる研究を続けてきた研究生たちの1年間にわたる成果が、さまざまな深化を伴う表現方法によって発表されました。



嵯峨野で学ぶ

“開かれた大学”をめざして、2003年5月に開設した「京都嵯峨芸術大学生涯学習講座」も今春で2年目を迎えます。

2004年度は、講座数を2003年度に比べて約2倍の20講座に増やし、芸術から語学、文化考察まで、本学が約30年間の教育・研究活動で蓄積してきた知識と技術を、地域社会へ向けてさらに多くご提供できるようにしました。

今回から新たに、木版画や絵本を制作する講座や、初心者の方にも気軽にご参加いただける、基礎から学ぶ絵画系の講座をご用意したほか、語学講座(英会話・フランス語会話)やフィットネス講座など、芸術以外へもジャンルを広げて開講します。

また、前回に大変ご好評をいただいた小学生夏休み講座は、2003年度に引き続き、8月に3日間集中方式で行います。



4月に竣工予定の新校舎「有響館(うきょうかん)」の教室も利用して、より多くの方々の学習意欲にお応えできるようになっています。自然に囲まれ、古刹や名所旧跡の点在する嵯峨野の地で、ゆったり時間をかけて、学び、つくり、技術を練磨する...そんな自分だけの時間を過ごしてみませんか。

ご希望の方には、詳しい総合パンフレット(FAX専用申込みシート付き)を無料でお送りします。下記「生涯学習講座係」までご請求ください。

なお、受講のお申込みは、3月29日(月)~4月15日(木)の期間に受け付けいたします。ただし、小学生夏休み講座のみ、受付期間を7月5日(月)~7月15日(木)とさせていただきます。

[京都嵯峨芸術大学生涯学習講座係]

〒616 8362

京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL 075 864 7898(直)

FAX 075 882 7770(直)

kaku@kyoto-saga.ac.jp

2004年度生涯学習講座一覧表

講座名	定員	期間	概要	講師	受講料他
日本画(精密写生)	10名	5月8日～7月10日 毎週土曜日(全10回) 13時～16時	写生の基本を学ぶ講座です。写生の基礎である精密写生を学ぶことによって、観察する目と心を養います。観察と写生の方法を学び、感動を写生作品として完成させます。	林潤一(芸術学部教授)	¥20,000 +教材費¥1,000
日本画(屋外写生)	20名	9月11日～11月6日 毎週土曜日 (10月2日を除く全8回) 13時～16時	日本画制作のための写生を学ぶ講座です。屋外(主に嵐山周辺や植物園の予定)の自然の中で写生を行います。自然の中での写生は、新たな発見も多く感動も大きいと考えます。この感動が日本画の表現の根源になります。	林潤一(芸術学部教授)	¥16,000 +教材費¥500 (施設利用費、交通費は自己負担)
日本画(制作A)	20名	5月8日～7月24日 毎週土曜日(全12回) 13時～16時	身近な植物や静物、小動物等から気に入ったモチーフを見つけ、日本画固有の材料や技法を用いて各自の感性を磨き個性豊かな作品を制作します。	土手朋英(短期大学部教授)	¥24,000
日本画(制作B)	20名	9月25日～2月5日 土曜日(不定期)(全12回) 13時～16時	対象を深く観察する力を養うとともに、日本画特有の材料・技法・思考を学んで、それぞれ独自の表現世界をつくり出す喜びを味わいましょう。	北村正己(短期大学部助教授)	¥24,000
洋画基礎	20名	5月15日～10月9日 土曜日(不定期)(全10回) 13時～16時	鉛筆デッサン・水彩絵具・油絵具の使い方を学んで、描く楽しさを体験します。	坂田芳孝(短期大学部非常勤講師)	¥20,000 +教材費¥2,500
洋画	20名	5月8日～11月27日 土曜日(不定期)(全15回) 13時～16時	静物・人物・風景を通じて、油絵を描く楽しさを味わいます。無論、それぞれにデッサンや色彩表現の技法的な厳しさをちょっぴり含めます。自分だけの世界をつくりましょう。	伊庭新太郎(本学客員教授) 蛭田均(短期大学部非常勤講師)	¥30,000 +教材費¥5,000
陶芸(A)	20名	5月8日～6月5日 毎週土曜日(全5回) 13時～16時	簡単な技法(ひねり)で、カップや鉢をつくります。本焼きをした作品の上から、赤や緑の上絵具で絵を描きます。最終日には完成した作品を使ってお茶を飲み、感想を話します。	池田八栄子(短期大学部教授)	¥10,000 +教材費¥1,500
陶芸(B)	20名	6月12日～7月10日 毎週土曜日(全5回) 13時～16時	簡単な技法(ひねり)で、カップや鉢をつくります。白化磁泥(泥土)を使って、揺らしという手法を取り入れ模様を描きます。最後に上絵具で色絵を描き、仕上げます。	佐藤巧(短期大学部非常勤講師)	¥10,000 +教材費¥1,500
彫刻	20名	5月15日～6月19日 土曜日(全6回) 13時～16時	木の枝や板、塊を使って簡単なオブジェや棚、オリジナル時計をつくりませんか。自分の手で他にはない物をつくるのは楽しいものです。彩色をするのも自由です。オブジェをガーデニングに使ったり、枝を文字盤につけた時計などはどうでしょうか。	渡辺典子(芸術学部教授) 多田千明(芸術学部非常勤講師)	¥12,000 +教材費¥5,000
木版画	20名	5月8日～7月10日 毎週土曜日(全10回) 13時～16時	彫り方・摺り方など木版画の技法を修得し、自分の作品をつくり出す喜びを発見してください。また、版木から複製印刷することが可能ですから、自分の創作をグリーティングカードなどにも活用しましょう。	西真(短期大学部名誉教授)	¥20,000 +教材費¥3,000
絵本	20名	5月8日～7月31日 毎週土曜日(全13回) 13時～16時	ストーリーから製本まで、自分にしかつくりえない絵本をつくります。	伊勢信子(短期大学部教授) 田中早智子(短期大学部非常勤講師)	¥26,000 +教材費¥3,000
コンピュータ基礎	20名	5月8日～6月26日 毎週土曜日(全8回) 13時～16時	イラストレーターやフォトショップなどといったグラフィック・ソフトを使用して、グリーティング・カードやカレンダーなどを作成します。ソフトの操作法やスキャニング、プリンティングの方法も学びます。(Mac使用)	西村美香(短期大学部専任講師) 倉山裕昭(短期大学部専任講師)	¥16,000 +教材費¥2,000
おもしろコンピュータグラフィックス	20名	9月15、16、17、18、21、22日 (全6回) 13時～16時	フォトショップやフリーウェアなどを使って、フォトモンタージュやアニメーションなど、コンピュータグラフィックスならではの、ちょっと愉快な作品をつくります。(Mac使用)	三宅章介(芸術学部助教授)	¥12,000 +教材費¥1,500
英会話初級Ⅰ	20名	5月8日～7月24日 毎週土曜日(全12回) 13時～14時30分	英語を再入門したい方や、もっと自由に英語を使いこなして会話を楽しみたいという方を対象に、日本人とネイティブの講師が交互に授業を進めます。発音指導やリスニングのコツ、便利な表現、さらにはこぼれ話の時の上手な会話の進め方などを日本人講師が担当し、英語圏の文化的特徴や実際の会話練習をネイティブの講師が担当します。	佐野仁志(短期大学部助教授) ソフィア・アイナリス(平成16年度より芸術学部非常勤講師)	¥24,000 +教材費¥1,800
英会話初級Ⅱ	20名	9月25日～12月18日 毎週土曜日 (10月2日を除く全12回) 13時～14時30分	英会話初級の続編ですが、からの受講も可能です。英語で会話することの楽しさを知れば、やはり外国に行くに実際に使いたいものです。観光旅行だけではなくホームステイ等でも必要な英語をマスターしましょう。さらにはEメールやグリーティングカードの書き方にも慣れていただきます。英会話初級と同様、日本人講師とネイティブの講師が交互に授業を進めます。	佐野仁志(短期大学部助教授) 外国人講師は未定	¥24,000 +教材費¥1,800
フランス語会話(初級～中級)	20名	5月29日～11月27日 土曜日(不定期)(全12回) 13時～14時30分	初級から中級程度の会話を学びながら、フランスの文化にも触れていきます。	末次エリザベート(平成16年度より芸術学部非常勤講師)	¥24,000 +教材費¥2,500
フランス文化	30名	5月8日～10月9日 土曜日(不定期)(全10回) 13時～14時30分	ファッション、食文化、シネマ、シャンソンといったフランスの特徴的な文化現象について概観し、また、鑑賞および演習を行います。	三好郁朗(学長) 大竹仁子(短期大学部教授) 西村美香(短期大学部専任講師) 稲垣直樹(京都大学大学院教授) 松島征(京都大学大学院教授)	¥20,000
古代世界にみる芸術文化の原像	30名	5月8日～3月12日 毎月第2土曜日 (8月を除く全10回) 13時～15時	各地特有の風土的自然景観の「地」の上に浮かび出る芸術的な「図」としての同時代的なドキュメント(文書、記録、文学、思想)を資料にして、モニュメント(建築、彫刻、絵画などの造形遺構)を通して甦る美的なイメージ(「像」)の世界を探ります。文字・映像資料、現地を歩くという方法で「原像」への直感的アプローチを試みます。「大和」については1～2回のフィールドワークを行う予定です。	深田進(芸術学部教授)	¥20,000
フィットネス	20名	5月8日～7月24日 毎週土曜日(全12回) 13時～14時30分	ゆっくり、やさしく、のびのび、楽しく身体を動かしてみませんか? 自分の身体が「動く、動かせる」そんな当たり前のことが、自分の意志に反し「動けない、動かない」そんな経験はありませんか? 心と体を開放し、健やかで美しく、活動的な身体を確保をめざします。	中森洋子(短期大学部教授) 大西健(大阪フォークダンス連盟会長) 中川ヒカリ(元京都市社会体育指導員)	¥12,000
小学生夏休み講座	各30名 計90名	8月6、7、8日 期間中毎日(全3回) 13時～16時	「環境を考えよう」をテーマに、日常の中で不要な物や、何気ない物に目を向け、我々のまわりを美しくすることや、物を大事にする心を学び表現します。 1・2年「環境恐竜(動物)をつくらう」 3・4年「顔(ヨシ)粘土で嵯峨面をつくらう」 5・6年「顔(ヨシ)のあかりをつくらう」	有岡保行(短期大学部教授) 金氏脩介(芸術学部教授) 平松國和(芸術学部教授) 北村正己(短期大学部助教授)	¥3,000 (傷害保険料込) +教材費 1・2年¥500 3・4年¥700 5・6年¥1,200

別途、登録料¥3,000が必要ですが(前年度受講者ならびに在学・卒業生・教職員は免除)。講座によっては、お持ちでない画材や用具等を購入していただく必要があります。

大学行事

オリエンテーション日程

新年度開始につき、下記のとおりオリエンテーションを実施します。学部学科ごとに、日程が異なりますので、ご注意ください。なお、前期授業は4/10(土)から開始します。履修登録の変更期間は4/10(土)~4/16(金)16:00まで(厳守)となります。

在学学生					
日	学部	学科/学年	内容	時間	場所
3/29(月)	芸	造・観/3年次編入生	履修・進路ガイダンス	13:00~15:00	第4演
3/30(火)	芸	全	成績配布	13:00~16:00	教務課カウンター
3/31(水)	短	全	成績配布	13:00~16:00	教務課カウンター
4/1(木)	芸	造・観/新2・3・4回生	履修ガイダンス	9:30~11:00	第7講
			学科別専門科目履修ガイダンス(2回生以上対象)	11:00~11:50	造/AV、観/第3演
			教職課程履修ガイダンス(2回生希望者必須)	13:00~14:00	第4演
			学芸員課程履修ガイダンス(2回生希望者必須)	14:00~15:00	第6演
			進路ガイダンス(4回生対象)	15:10~16:40	第6演
	短	専/新2回生	履修ガイダンス	10:00~11:30	第8講
4/2(金)	芸	造・観/新2・3・4回生	履修ガイダンス	13:00~14:30	美・工=第7講、デ=第8講
			履修登録締切	~12:00	教務課カウンター
	短	美・専/新2回生	進路ガイダンス	10:00~11:30	第6演
			履修登録締切	~12:00	教務課
定期健康診断	13:00~16:00	第1・2・9演、第7・8講			
4/7(水)	芸	造・観/新3・4回生	学芸員課程履修ガイダンス(博物館実習登録者全員)	13:00~	AV
新入生					
日	学部	学科	内容	時間	場所
4/5(月)	短	美・専	入学式	10:00~11:00	講堂
			保護者懇談会	入学式終了後	第6演
			分野別専門科目カリキュラムガイダンス(1)	11:10~12:00	美・工=第8講、デ=講堂
	分野別専門科目カリキュラムガイダンス(2)	13:00~14:30	美・工=第8講、デ=各教室		
芸	造・観	入学式	13:30~14:30	講堂	
		保護者懇談会	入学式終了後	第6演	
4/6(火)	芸	造・観	全体カリキュラムガイダンス	9:30~12:00	第6演
			造 専門科目カリキュラムガイダンス	13:00~14:30	AV
			観 専門科目カリキュラムガイダンス	13:00~14:30	第3演
	短	美	全体カリキュラムガイダンス	9:30~12:00	美・工=AV、デ=第7講
カリキュラムガイダンス、履修ガイダンス	13:00~14:30	第4演			
4/7(水)	芸・短	全	人権講演会、学生部説明、図書館利用ガイダンス	9:30~12:00	講堂
4/8(木)	芸	造・観	履修登録	9:30~11:30	第6演
			短 美・専	履修登録	9:30~11:30
	芸・短	全	大覚寺見学会	13:30~	大覚寺
4/9(金)	芸・短	全	定期健康診断	9:00~12:00	第1・2・9演、第7・8講
			校友会主催新入生歓迎会	13:00~15:00	講堂

芸=芸術学部、短=短期大学部、造=造形学科、観=観光デザイン学科、美=美術学科、専=専攻科
美・工=美術・工芸分野、デ=デザイン分野、演=演習室、講=講義室、AV=AVホール

附属博物館 附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」

第6回企画展『草原の国「モンゴル」の造形 異文化を知るⅠ』

日本国内から異国の地へと視線を広げ、異文化の中で培われてきた豊かな造形美に注目した企画展を開催することとなりました。

その第一弾として、モンゴルの文化をテーマに、附属博物館と附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」で同時展示を行います。附属博物館ではモンゴルの生活用具を中心とした民具展示を、附属ギャラリーではモンゴル絵画を壁面展示し、中央にゲル(モンゴルの遊牧民が住む移動式の住居)を設置します。

また、この企画展に伴って、附属図書館ではモンゴル関連の書籍を提示するほか、学生食堂でもモンゴルに関する食事を提供し、大学全体でイメージをつくり上げる、横断的な企画を予定しています。普段見ることのできない、異文化の造形美をどうぞご覧ください。

会期...4/1(木)~6/30(水)
時間...10:00~18:00(最終日17:00迄)
休館...博物館・ギャラリーともに毎月曜日(祝日の場合、翌火曜)
お問合せ...附属博物館
TEL075 864 7852(直)
museum@kyoto-saga.ac.jp

大学行事

入学式のおしらせ

京都嵯峨芸術大学ならびに京都嵯峨芸術大学短期大学部の平成16年度入学式を下記のとおり執り行います。

なお、両学部ともに、式典終了後は保護者懇談会を開催します。

日時...4/5(月)

短期大学部入学式10:00~
芸術学部入学式 13:30~
会場...講堂(図書館講堂棟4階)

教員の活動情報

展覧会

- 2/13~3/21「現代の水墨画2004-墨の可能性と新たな創造」
会場...富山県水墨美術館
出品者...箱崎睦昌 日本画
- 3/2~3/21「グループNEXT現代京都画壇の地平」
会場...佐川美術館
出品者...箱崎睦昌、林潤一 日本画
- 3/13~5/5「横山操と横の会の男たち」
会場...新潟県立万代島美術館
出品者...箱崎睦昌、林潤一 日本画
- 3/16~3/28「アーティストによるジュエリー展」
会場...ギャラリーみつはし(京都)
出品者...林潤一 日本画
平松國和、渡邊典子 彫刻
- 3/17~3/29「花開く日本画壇の精華」
会場...JR名古屋高島屋
出品者...林潤一 日本画
- 3/29~4/3「染織展」
会場...弘益大学校ギャラリー(韓国)
出品者...吉水絹代 染織
- 4/3~5/9「花開く日本画壇の精華」
会場...富山県砺波市美術館
出品者...林潤一 日本画
- 4/27~5/9「企画展」
会場...ギャラリーすずき(京都)
出品者...渡邊典子 彫刻

その他

4月~NPO法人「観光力推進ネットワーク-関西」活動開始
桑田政美 観光デザイン

記載内容は変更する場合がございます。ご了承ください。
非常勤教職員、その他の情報は本学のWEBサイトをご覧ください。

京都嵯峨芸術大学広報

第7号

2004年3月19日発行

編集 京都嵯峨芸術大学 企画広報室

発行 学校法人大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学

〒616 8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL 075 864 7859

FAX 075 882 7770

http://www.kyoto-saga.ac.jp

info@kyoto-saga.ac.jp

印刷 株式会社 石田大成社